

旬の人

海野 大透さん

トランポリン選手

シュン、シュンと音を立てて空中へ飛び出していくトランポリン選手。その中でひととき高く、体育館の天井に届く勢いでジャンプするのは2014年世界年齢別トランポリン競技選手権大会(13~14歳の部)で優勝した海野大透さんだ。

2000年、静岡市に生まれた海野さんは、祖母が経営するトランポリン教室に3歳の頃から通い始め、小学4年生の時に見た北京オリンピックで、競技としてのトランポリンに目覚める。以後、着実に力を付け、中学2年生で年齢別の世界チャンピオンになるものの、その後の国内大会で苦戦。自分の跳躍ができず、競技を途中でやめてしまうこともあった。しかし、その挫折が持ち前の闘争心に火を付ける。トランポリンの強豪校・浜松修学舎に進学すると、高難度の技を高い跳躍で美しく決めるスタイルに磨きをかけ、2015年に全国大会の年齢別で優勝を果たした。

そんな海野さんが思いを寄せるのは日本一の山、富士山だ。「自宅や校舎から富士山が見えると見入ってしまいます」。その心情には、跳躍の高さを追い求める競技者としての信条が重なって見える。

現在、2020年東京五輪の強化指定選手に選ばれている海野さんは「トランポリンは0.1ポイントの差で勝敗が決まるとも繊細で怖い競技。だからもっと技を磨いて五輪で金メダルを取りたい」と語る。挫折と恐さをバネにして、世界クラスの飛翔を続ける15歳の姿は力強く、そして美しい。

富士山が見えると
思わず見入ってしまいます。



体育館の天井に届くような高さでジャンプを続ける海野大透さん。トランポリン競技では高さも重要な採点基準。



空中姿勢が美しいことも海野選手の強み。「前方3回宙返り半ひねり」といった大技も次々と決めていく。

海野大透(うんの・ひろと)

2000年静岡市生まれ。2014年世界年齢別トランポリン競技選手権大会(13~14歳の部)個人優勝。同(17~18歳の部)シンクロナイズド優勝。2015年川崎市長杯争奪国際トランポリンジャパンオープン(15~16歳の部)優勝。同年年齢部門最優秀選手賞受賞。オリンピック強化指定選手。祖母の弘美さんは元トランポリン選手。姉の玲奈さんも現役トランポリン選手。